



通常は全長が60cm前後だが、稀に巨大なものが獲れる。あわら市北潟湖産 全長:約72cm

ナマズ科 ナマズ属

【全長】60cm

ナマズ

学名: *Silurus asotus*

分布域

現在は日本全国に分布するが、自然分布域の詳細は不明。

生息域

平野部の流れの緩やかな河川、湖沼に生息する。



幼魚期はヒゲが3対ある。全長約3cm

福井県内にも広く生息し馴染みの深い種だが、自然分布域は不明とされる。体色は黒褐色に黄褐色のまだら模様で個体差がある。頭部は大きくて縦扁する。口は大きく下顎が上顎より突出する。孵化したばかりの仔魚には3対の髭があるが、5cm前後で眼の直下にある1対の髭が消滅する。背鰭は小さく、臀鰭は尾鰭と連結する。夜行性。食性は動物食で活きた魚類やカエル・昆虫などを捕食する。産卵期は5~6月で水田や水路などの浅い泥底部でオスがメスに巻き付き緑色の卵を産卵する。水槽での飼育は容易。口に入るサイズのものは何でも食べてしまう。気性は荒く、同種間でも喧嘩する。単独飼育をお奨めする。

在来種

純淡水魚

※ 今では全国に分布・生息するが、関東地方は江戸時代中期・北海道は大正時代に移植・放流されたものらしい。同種間の喧嘩は幼魚~成魚まで行い殺し合う。飼育は単独飼育が原則。